



おおきに

ニュースレターVol. 16

2007.10 発行
スペシャルオリンピックス日本・京都
〒604-8083
京都市中京区三条通柳馬場東入中之町2
京都YMCA内<3F>
TEL 075-211-1574 FAX 075-211-1590
HP <http://www.son-kyoto.com>
E-mail miyake3-2@nifty.com

"Let me win but if I cannot win Let me be brave In the attempt"

「私に勝たせてください。もし勝てないとしても頑張る勇気を持たせてください」

感謝!!

小倉 一良

先日の鴨川チャリティートーチウォークでは多方面からご支援をいただき誠にありがとうございました。お蔭さまで、事故も無く無事終了することができました。アスリート、ファミリー、コーチ、ボランティアの心が一つになり成功裏に終えることができました。

今回は、前回までのトーチランを実態に合ったトーチウォークと名称変更し、「鴨川チャリティートーチウォーク」として開催いたしました。当日は、公務ご多用の中、山田啓二京都府知事も駆けつけていただき、開会の中で励ましのご挨拶を頂戴いたしました。また、一般参加の方々を含め約400名の方々に参加いただきました。北山大橋より三条大橋まで、東側と西側に別れ、アスリートのトーチはもとより、幟り片手に全員で約1時間半かけトーチウォークをいたしました。

残暑厳しく、全工程参加の皆様はバテバテのご様子でしたが、千容子会長の最後のご挨拶が皆様の心を捉え、チャリティーも当日だけで約30万円のご協力を得ることができました。また、この鴨川チャリティートーチウォークについては、マスコミでも多数取り上げていただく事ができました。そして、開催目的である、スペシャルオリンピックス日本・京都の活動が京都市民の方々に認知していただくとともに、10月に中国上海で開催される世界大会参加者への支援が実を持って行なわれたと実感する事ができました。

最後になりますが、今回の鴨川チャリティートーチウォークを実行委員会として支えていただいた、(社)ガールスカウト京都連盟京都府支部、京都商工会議所青年部、(社)京都青年会議所、京都パープルサンガ後援会、京都ライオンズクラブ、京都ロータリークラブ、京都YMCA有志、国際ソロブチミスト京都、(社)茶道裏千家淡交会京都四支部青年部連合会、日本ボーイスカウト京都連盟、及び、救急医療ボランティアとして参加いただきましたセントジョンアンビュランスジャパン協会の皆様はじめ、関係各位の全ての皆様に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



2007年鴨川チャリティーウォーク レポート

9月9日(日)11時に暑い中を、2007年度、スペシャルオリンピックスチャリティーウォークに参加し、アスリートを中心に、ファミリー・ボランティアが「三位一体」となり北山橋から三条大橋まで約5kmを参加者全員が大汗を拭きながら精一杯、トーチウォークを行いました。

トーチを握りしめた指先から、強さと熱いものを感じながらゴールを目差しました。

猛暑の中で、アスリートと一緒に話をしながら、ファミリーの方々との対話の中で、アスリートの日常生活のお話をし、スペシャルに入って本当に良かった等、一步一步成長している姿が嬉しく思いますとのファミリーのお話を聞き、それぞれの種目の「魅力・楽しさ」に感動をし、全員で同じ喜びを持ちながら参加し、ウォークが出来ました。

途中で気分が悪くなった参加者もいましたが、大事に至らなくて良かったです。来年も実施されるでしょうから、もっと多くの理解者、保護者、アスリートとして参加があってもいいのではないのでしょうか。

バスケットコーチボランティア 山科文子

西河川敷



東河川敷



フロアホッケー・スキーは東2コース第2区 北大路橋～出雲路橋をトーチを持って歩きました。S0のぼりが北山橋で開会式が行われている最中からずっと見えており、いつ第2区に来るのかと待っている時間が長く感じられました。

トーチウォークが始まり徐々にのぼりを持った集団が第2区に近づいて来るにつれて緊張を感じました。

第2区では寺井君がトーチを持ち対岸のトーチに歩調を合わせるようにして第3区に繋げてくれました。第2区の参加アスリートは少なかったのですが、第1区から歩いているアスリートや第3区を歩く予定のアスリートも歩いてくれたため、結果的にたくさんのアスリートが歩いてくれました。また協力団体の方々、ファミリーの方々の助けもあり、とても楽しくトーチウォークが出来ました。

フロアホッケーコーチ 西村隆志



ボウリング合同競技会

6月9日(土)に新大阪のイーグルボウルにて第6回ボウリング合同競技会が行われました。例年通り、バンジ(ガター止)ありの部、バンジなしの部が行われました。今回はバンジありの部では、車椅子使用のアスリートのために補助スロープアシストボウリングの部も行われました。今回、SON京都からの参加は、残念ながら女子の参加はなく、男子13名の参加となりました。

午前には予選の競技、昼食をはさみ午後から決勝の競技が行われました。オネスト・エフォートルール採用の為、いつものことながら予選のスコアとアスリートのアベレージのどちらのスコアで決勝に挑むかということで、みんなが昼食中に悩んでいました。決勝での結果は各クラスで好成績を残すことが出来ました。更に京都からは失格のアスリートが出なかったためコーチの責任は何とか果たせたと安心しました。

「次回からはバンジのないレーンで頑張りたい」や「今度は1位になる」と次回に向けての意気込みも聞かれました。みんなで練習を重ね力をつけて頑張りたいと思います。

ボウリングボランティア 西村 隆志



オネスト・エフォート

ディビジョニングをより公正なものとするために設けられているルールです。

※決勝の記録または得点が予選よりも15%よかった場合、失格になることがあります。



速報！上海ワールドゲームズ 2007年10月3日 開会式

SON京都から水泳コーチとして参加されている森田隆信氏より開会式の画像が送られてきました。携帯の写真なのであまり鮮明ではありませんが、掲載いたします。

上海ワールドゲームズの様子は次号に特集で掲載いたします。



2008年第4回スペシャルオリンピックス日本

冬季ナショナルゲーム・山形

大会概要

- 大会名称：2008年 第4回 スペシャルオリンピックス日本 冬季ナショナルゲーム・山形
- 大会テーマ：「樹氷のように光り輝け この感動 この友情」

- 開催期間：2008年3月7日（金）～9日（日） 3日間

開会式：3月7日（金） 会場：山形市総合スポーツセンター体育館

競技：3月8日（金）～9日（日）

閉会式：3月9日（日） 会場：山形市総合スポーツセンター体育館

- 開催地：山形県山形市

■実施競技：

アルペンスキー、クロスカントリースキー、スノーボード、

スノーシューイング（蔵王温泉スキー場）

スピードスケート、フィギュアスケート（ウェルサンピア山形屋内スケート場）

フロアホッケー（山形市総合スポーツセンター体育館）

■参加予定人数

選手団総数：約1,000名（アスリート約650名、団長・コーチ約350名）

競技役員/ボランティア/ファミリー：約3,000名

- 主催：認定NPO法人スペシャルオリンピックス日本

- 主管：スペシャルオリンピックス日本・山形

